



プレスリリース
2021年3月8日
冒険研究所・荻田泰永遠征事務局

北極冒険家・荻田泰永が創る 「冒険研究所書店」 開店決定！

日本唯一の「北極冒険家」が
神奈川県大和市に「冒険」と「本」を融合した
「冒険研究所書店」をオープン！
子ども達や大人までが新しい世界に触れられるような
旅と冒険と本を通して世界への扉が開く場所に
気軽に旅に出ることも難しい今こそ、ここに来れば冒険が待っている！

冒険研究所・荻田泰永遠征事務局は、北極冒険家・荻田泰永が「冒険研究所書店」のオープンを決定、またその開設費用の一部をクラウドファンディングにて募ることをお知らせいたします。

荻田は2019年10月より神奈川県大和市に「冒険研究所」を開設しました。その場所は荻田泰永の事務所であると同時に、20年に渡る冒険で使用された装備などを保管する場所として、またトークイベントなどを行う場所としてこれまで活用して来ました。

そしてこの度「冒険研究所」の一部を、本と冒険、旅、それらが一直線につながるような「書店」にしようと動き始めました。

北極冒険家・荻田泰永の新たな挑戦にご注目いただき、またメディアの方々にはご取材いただければ幸いです。



なぜ「書店」なのか？

元々縁の無かった「大和市」と言う土地に「冒険研究所」を構え、約一年半活動して荻田が感じたことは「書店が少ない」と言うことでした。ネット通販が隆盛となったこの時代、最寄りの「桜ヶ丘駅」近辺も例に漏れず、**全く書店がありません。**

近くには小学校や中学校が多くあります。駅前には学習塾もあり、子供たちや学生の姿もたくさん見られます。しかしながら書店が無い、文化的な施設が少ないと言うのが現実の姿です。

この状況に荻田自身、「**文化的な活動をしていきたい**」と言う思いを日に日に抱くようになりました。

また昨年3月の新型コロナによる一斉休校時に冒険研究所を開放したことで、近隣の子どもの「顔」が分かるようになったことも大きな理由です。

<https://www.kanaloco.jp/news/life/entry-288241.html>

「冒険研究所書店計画」は以下から

<https://note.com/ogitayasunaga/n/n847e7189ccfe>

日本唯一の北極冒険家が創る

ADVENTURE LAB. BOOK STORE
本と旅し、本に旅し、本が旅する

冒険研究所書店を設立！

クラウドファンディング開始

「冒険研究所書店」オープンに向けて、必要資金の一部をクラウドファンディングで募集開始しました。書店のコンセプトに賛同いただける方々、そして荻田泰永の新たな挑戦を応援していただける方々からご支援をいただき、一緒に「冒険研究所書店」を創り上げていきたいと考えています。

唯一無二の“北極冒険家”がつくる「冒険研究所書店」スタート！

<https://camp-fire.jp/projects/view/391907>

◆実施スケジュール

- 3月上旬 クラウドファンディング開始
法人登記：合同会社冒険研究所
古物商免許申請（通常40日ほど）
改装スタート
- 3月下旬 クラウドファンディング終了
- 4月中旬 古物商免許取得
書籍搬入
- 5月中旬 冒険研究所書店オープン



荻田泰永

おぎた・やすなが 北極冒険家

1977年9月1日生まれ。神奈川県・愛川町出身、在住

カナダ北極圏やグリーンランド、北極海、南極にて主に単独徒歩による冒険行を実施。2000年より2019年までの20年間に16回の極地行を経験し、自らの脚で10,000km以上を踏破。世界有数の北極冒険キャリアを持ち、国内外のメディアからも注目される日本唯一の「北極冒険家」。

2016年、カナダ最北の村グリスフィヨルド～グリーンランド最北のシオラパルクをつなぐ1000kmの単独徒歩行（世界初踏破）

2018年1月5日（現地時間）、南極点無補給単独徒歩到達に成功（日本人初）

2018年2月 2017「植村直己冒険賞」受賞

2019年3月 著書「考える脚」をKADOKAWAより出版

2020年3月 著書「考える脚」が第9回「梅棹忠夫・山と探検文学賞」を受賞

著書：「北極男」講談社（2013年11月）

「考える脚」 KADOKAWA (2019年3月)

《お問い合わせ》

冒険研究所・荻田泰永遠征事務局

担当：栗原（クリハラ）

電話：090-1555-4336

FAX：046-269-2370

Mail：kurihara@polar-ogita.com

URL：<https://www.ogita-exp.com>